

質 問 回 答 書 ⑤

平成 3 1 年 2 月 1 4 日

1. 入札締切日 平成 3 1 年 2 月 1 9 日
 2. 工事番号 3 0 活建第 2 3 号
 3. 工事名 道路新設工事
 4. 工事場所 長岡市越路中沢 地内

5. 質 問 事 項 (具体的に記入してください)

質問No.	図面No.	質 疑 事 項	回 答
1	—	施工 第 0-0039 号内訳表コルゲートパイプは全損と考えてよろしいでしょうか。	設計図書のとおり、コルゲートパイプは買い取りとなります。
2	—	遺跡調査の期間が平成 31 年 4 月と記載されていますが、調査は現場着手前に完了し、着手後は影響を受けないと考えてよろしいでしょうか。それとも、着手後（たとえば掘削してから）に現場が止まることを想定されているのでしょうか。後者の場合調査予定日数を教えてください。	原則、遺跡調査が完了するまで施工することができません。調査予定日数は 1 週間程度の予定です。ただし、官民境界の畦畔盛土工及び田面排水は耕作期間までに完了する必要があることから、遺跡調査開始前に着手することは可能です。
3	—	施工 第 0-0016 号内訳表で計上されているバック杓混合(施工費)を見積もり依頼される際、本工事にかかる日当たり施工能力 (m ³ /日)をいかに要求されていますか。	バック杓混合の見積条件を「バック杓にて搬入された発生土とセメント系固化材を混合」「混合土は路体盛土として使用する」「路体盛土の敷均し、締固めはこの歩掛に含まない」「施工数量は地山土量 V=3000m ³ 予定」としており、日当たり施工能力の設定はしていません。なお、見積の単抜内訳は添付資料のとおりです。
4	—	上記バック杓混合(施工費)の見積もりに於いて仮設は計上されていますか。その場合、仮設の内容を教えてください。仮設が計上されていないとすれば、借地はそれなりの設備の在る改良土プラントまたはそれに	バック杓混合(施工費)に仮設は計上されていません。現地調査により借地場所に仮設が必要な場合は、仮設内容を発注者と協議願います。

		準ずる施設と考えてよろしいでしょうか。	
5	—	借地については22・23号とも1000m ² となっておりませんが、それぞれ1000m ² 、合計2000m ² でしょうか。それとも、合計1000m ² を何らかの方法でシェアする方式でしょうか。後者の場合その詳細を教えてください。また、借地単価は土地価格(円/m ²)×0.06÷12と土地価格(円/m ²)×0.05÷12のどちらで計算されていますか。	22号、23号それぞれ1000m ² で計上しています。 借地箇所は公表していません。貴社の考える借地箇所を積算してください。なお、計算方法は新潟県土木積算基準のとおりです。

(工事担当課：道路建設課)